

設立10周年記念誌

10th
ANNIVERSARY

公益財団法人  - とくしま推進財団

Foundation for promoting of e-tokushima

徳島は宣言する
VS 東京

10th

公益財団法人 e-とくしま推進財団 設立10周年記念誌

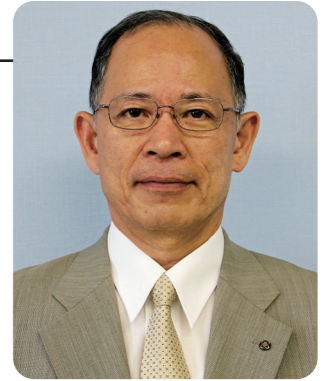
ANNIVERSARY

もくじ

contents

理事長あいさつ	1
徳島県知事祝辞	2
歩み	3
道標(みちしるべ)	9
軌跡	13

ごあいさつ



平成17年2月に県民だれもが、ICT(情報通信技術)の利便性を享受し、ICTを暮らしに活かし、個人が、地域が、産業が活力あふれ、県全体がいきいきとした徳島を創造することを推進する母体として、公益財団法人e-とくしま推進財団の前身である「財団法人e-とくしま推進財団」が発足してから、10周年を迎えることができました。

10年にわたる長い間、地域情報化を推進する様々な活動を展開できましたのも、温かいご支援、ご指導をくださいました徳島県をはじめ、各情報産業団体、賛助会員等の皆様のおかげであります。心より深く感謝を申し上げます。

こうした節目の年を迎え、これまでの歩みを皆様とともに振り返りつつ、未来に向けて当財団の進むべき方向を明確にするため、このたび設立10周年記念誌を発行することとしました。

この10年間、当財団は、「とくしまポータル」の運営をはじめとする地域貢献、普及啓発及び人材育成の3分野の事業展開を図り、財団事業として定着しておりますが、ICTは、クラウドサービスの定着、スマートフォンなどの普及によるモバイル化の進展、ソーシャルメディア利用者の急増など、新たな技術開発やサービスの提供により、著しい進展を見せ、日常生活により深く浸透しております。

また、県のICT戦略も、平成25年度までが推進期間である「e-とくしま推進プラン」から、平成26年度からは、ICT利活用先進県・とくしまの実現に向け、ICTを課題解決ツールとして効果的・積極的に利活用することにより、安全安心で活力あふれる地域を創造する「ICT(愛して)とくしま創造戦略」へと進化を遂げております。

こうした中、当財団としましては、「創造戦略」に的確に呼応するとともに、わたしたちの暮らしを、もっと豊かに、もっと便利にするため、これまでの蓄積を基に、ICTを課題解決ツールとして、効果的・積極的に利活用し、ひと、まち、しごとが活力あふれる地域を創造する県民の皆様にとってなくてはならない存在となるよう努力を続けてまいりたいと考えておりますので、今後とも皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

終わりに、当財団の10年間の活動にご支援、ご指導をいただきました関係者の皆様に心から感謝申し上げます、ご挨拶いたします。

公益財団法人 e-とくしま推進財団 理事長 熊谷幸三

創立10周年に寄せて

公益財団法人e-とくしま推進財団が、記念すべき設立10周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴財団におかれましては、平成17年に財団法人e-とくしま推進財団として設立されて以来、「県民だれもが、ICTの利便性を享受し、ICTを暮らしに活かし、個人が、地域が、産業が活力あふれ、県全体がいきいきとした徳島」の実現を目指し、産・学・民・官との協働のもと、熱意あふれる取組みを实践し、本県における地域情報化を力強く牽引いただいております。

これもひとえに、時代の変化や要請に的確に対応されながら、懸命に取り組んでこられた歴代理事長をはじめ役員、並びに関係の皆様がのびやかな努力の賜であり、改めて、深く敬意を表しますとともに、心から感謝を申し上げます。

さて、この10年を振り返ってみますと、ICTは著しい進展を遂げ、今や、社会経済活動すべての側面の隅々にまで及んでおります。

県におきましては、県政運営の指針「いけるよ!徳島・行動計画」において、「ひろがる交流とくしまづくり」を重点戦略に掲げ、ユビキタス社会の実現、また、「ICT(愛して)とくしま創造戦略」では、ICTを新たな時代を切り拓く処方箋と位置づけ、課題解決ツールとして利活用することにより、「新産業・新サービスが創出され、人と地域が元気な社会」、「健康で安心して暮らせる、安全で災害に強い社会」、「利便性の高い電子行政サービスが提供される社会」、そして「リテラシーが高く、実践的なICT人材を育む社会」の実現をそれぞれ柱として、安全安心で活力あふれる地域の創造に全力を傾注しているところです。

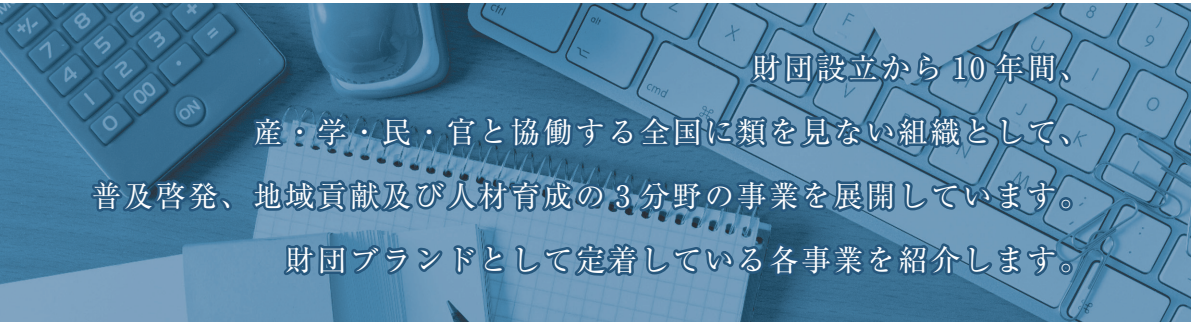
こうした中、貴財団におかれましては、本県の地域情報化の中核拠点として、ICTの利活用促進に向けた多種・多様な普及啓発、情報化支援を通じた地域活性化への貢献、地域情報化を担う実践的なICT人材の育成という3分野での事業展開に積極果敢に取り組んでいただいております。

また、現在、地域が抱える様々な課題の解決ツールとして、ICTのより効果的・積極的な利活用とあわせ、貴財団が担う地域に密着した、きめ細かな事業展開への期待がますます高まっております。貴財団におかれましては、今後とも、ICTの進展に対応した幅広い事業を展開いただき、本県における地域情報化のさらなる推進に向け、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益財団法人e-とくしま推進財団が、このたびの佳節を契機に、さらに大きく飛躍されますことと、関係の皆様が今後ますますのご健勝、ご活躍を心よりご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

徳島県知事 飯泉嘉門

歩み



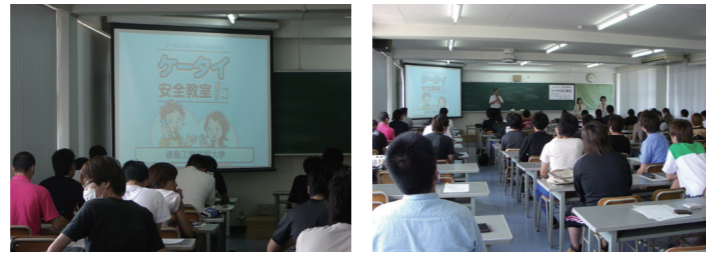
財団設立から10年間、
産・学・民・官と協働する全国に類を見ない組織として、
普及啓発、地域貢献及び人材育成の3分野の事業を展開しています。
財団ブランドとして定着している各事業を紹介します。

10th

公益財団法人 e-とくしま推進財団 設立10周年記念誌
ANNIVERSARY

1. 産学との連携による取組 (H17年度～)

「産・学」、「学・学」の交流創出を図り、企業や教育機関が連携して県内の情報化に取り組む糸口や将来を担う学生・生徒に、ICTが持つ先進性や利便性に触れる機会を提供するため、賛助会員の企業や大学が有する最先端技術などを紹介する出前授業を開催しています。



H25 徳島工業短期大学との連携 ケータイ安全教室
(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ あんしんインストラクター 小西 敏子

2. ICT (愛して) とくしまフォーラムの開催 (H23年度～)

ICTの利便性や利活用効果についての理解を深めるため、徳島県と共催し、セミナーやパネルディスカッションなどを開催しています。



H25 「つながるチカラ ～ソーシャルメディアは『動員の革命』だ!～」
ジャーナリスト/メディアアクティビスト 津田 大介

3. e-とくしまビジネスセミナーの開催 (H19年度～)

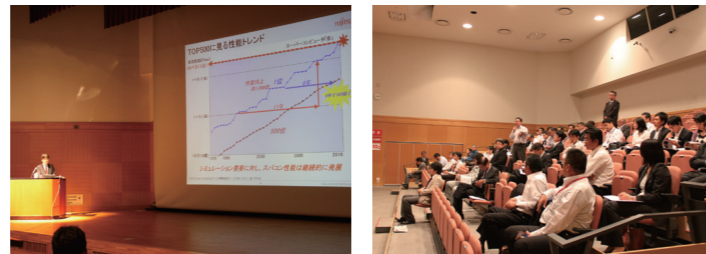
ICTの利活用を経営戦略に繋げるため、企業経営層を対象に、企業経営の参考となる最新情報や最新トレンドとなるセミナーを開催しています。



H25 「モバイルICTの『昨日・今日・明日』」
(株)NTTドコモ 常務執行役員
スマートライフビジネス本部長 阿佐美 弘恭

4. 先端技術セミナーの開催 (H21年度～)

ICTを更に利活用する契機とするため、トップ企業の技術者からICTの先端技術についての専門的なセミナーを開催しています。



H25 「スーパーコンピューターが拓く未来と「京」誕生までの軌跡
～世界一への挑戦とそれを支えた技術、人材～」
富士通(株)次世代テクニカルコンピューティング開発本部
本部長代理 伊東 広樹

5. インターネット安全教室の開催 (H21年度～)

教職員・保護者・児童生徒等を対象に、インターネットや携帯情報端末の危険性への理解を深め、個人情報の漏洩や犯罪に巻き込まれることを防ぐため、情報モラルについての研修会を開催しています。



H25 久勝小学校 (阿波市)

6. 操作研修会等の開催 (H22年度～)

パソコンなどの情報通信機器に触れる機会の少ない人を対象に、ICTの利便性を体験し、利活用の促進に繋げるため、各種団体からの要請により、インターネットなどの実機操作やICTの利活用方法についての研修会を開催しています。



H25 SNS利活用講座

7. 財団ホームページ・電子メールによる情報提供 (H17年度～)

国、地方自治体や各種団体が実施するICTに係るイベントや助成事業の紹介など最新の情報や動向等を随時情報提供しています。

e-とくしま推進財団ホームページ
<http://www.e-tokushima.or.jp/>



8. 市町村が行う ICT 普及啓発事業の助成 (H18年度～)

地域における情報弱者の解消や人材育成のため、地域の情報化の状況と地域住民のニーズを把握している市町村が実施する住民を対象としたICTの利活用に係る研修会などを助成しています。



H25 阿波市
「徳島と世界をつなぐソーシャルメディア都市宣言in阿波市～地域情報発信の可能性・未来を探る～」
Ustream Asia(株)
代表取締役社長
中川 具隆

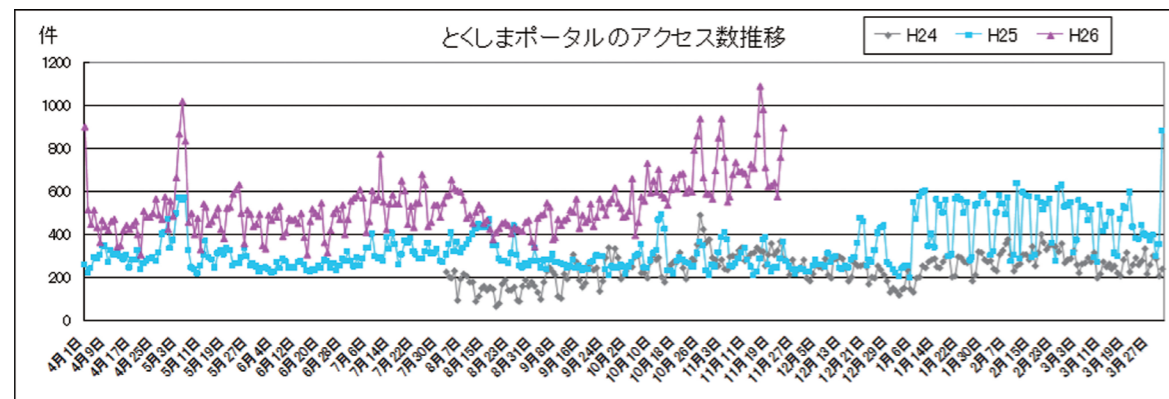
1. 「とくしまポータル」の運営 (H24年度～)

情報交流の活性化や利便性の向上を図るため、インターネット上に発信されている徳島のイベント・募集・ニュース・暮らしの情報を集約・発信するサイト「とくしまポータル」を運営しています。

また、地域の情報発信力の向上を図るため、「とくしまポータル」で小規模なNPO団体などの情報発信を支援しています。



とくしまポータル <http://www.tp.e-tokushima.or.jp>
H26.12 末現在 163 団体登録

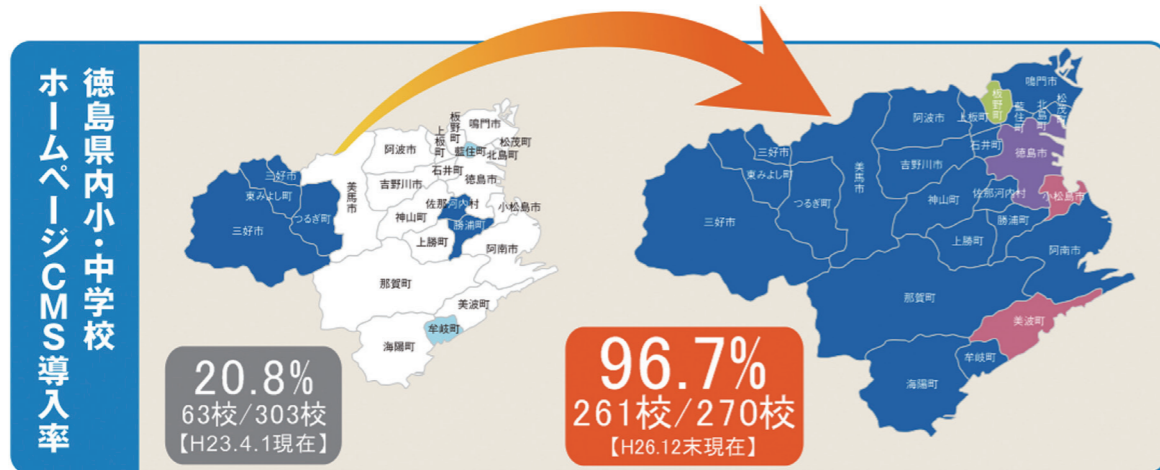


2. 学校ホームページのCMSサービス提供 (H23年度～)

保護者や地域住民との連携強化を図るため、簡単な操作で情報の登録などの管理ができるCMS(コンテンツ・マネージメント・システム)サービスを公立小・中学校等に提供し、ホームページの運営を支援しています。



支援校紹介: 喜来小学校 (松茂町)、津田中学校 (徳島市)



3. 学校図書システムのサービス提供 (H23年度～)

学校図書室運営の利便性向上を図るため、学校図書システムのサービスを公立小・中学校に提供し、業務効率化による負担軽減を支援しています。

- ・バーコードリーダーを利用した貸出返却処理
- ・書籍のバーコードを読み取るだけの図書登録
- ・セキュリティ対策として、固定IPアドレスによるアクセスのみに制限

H26.12 末現在 38 校支援



学校図書システム

4. 団体ホームページのCMSサービス提供 (H24年度～)

情報発信力の向上を図るため、地域の課題解決などに取り組む賛助会員である公益的団体に対し、学校ホームページと同様のCMSサービスを提供し、ホームページの運営を支援しています。

H26.12 末現在 12 団体支援

5. 自治体共同電子申請システムの支援 (H17年度～)

住民サービスの向上を図るため、県・市町村が県民や住民に対して提供しているインターネットを利用した電子申請システムの支援を行っています。

- ・24時間365日、いつでも、どこからでも、インターネット経由で申請が可能。

電子申請・届出サービス

<https://www.e-tetsuzuki99.com/eap-jportal/tokushima/>



6. 自治体クラウドシステムの支援 (H23年度～)

行政運営の効率化を図るため、県内自治体が共同利用する自治体クラウドシステムとして、市町村情報を円滑にホームページに掲載できる行政情報掲載システム(JoruriCMS)と大容量ファイルを安全に送受信できる文書管理(文書交換)システム(DECO)の支援を行っています。

H26.12 末現在 JoruriCMS 導入市町村数: 14 団体 DECO 導入市町村数: 12 団体

7. 自治体クラウドシステムの調査 (H25年度～)

行政運営の効率化を図るため、共同利用型システムの利用拡大の検討、既存システムの活用や情報セキュリティの向上に関する検討を行っています。

1. e-とくしま推進財団表彰の実施 (H21年度～)

実践的な ICT 人材の育成を図るため、県内の高等教育機関等に在籍する個人や団体を対象に、ICT を利活用した地域社会貢献への取組や ICT の新たな活用方法の開発など優秀な業績に対して表彰を行っています。

また、保護者や地域住民への積極的な情報発信を促進するため、ホームページの運営が優れ、他校の模範となる県内の公立小・中学校を表彰しています。



H25 徳島大学病院
脳卒中センター 及び
地域脳神経外科診療部
スマートフォン等を用いて画像転送及びコンサルテーションを行う「遠隔診療支援システム」を構築



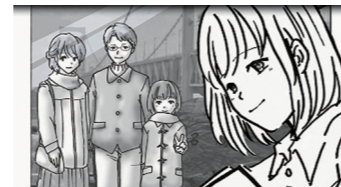
ホームページ最優秀校
川島小学校 (吉野川市)

2. ICT(愛して)とくしま大賞の実施 (H23年度～)

デジタルコンテンツ産業を担う優秀な人材を育てるとともに、本県が誇る「自然・食・文化」などの魅力を全国に発信するため、徳島県、(公財)とくしま産業振興機構などと共催し、優れた動画、アニメやアプリケーションなどのデジタルコンテンツ作品を募集し、将来性のある学生の作品を表彰しています。



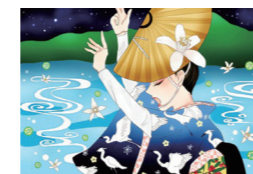
H25 徳島文理大学
NPO 法人 AwatterLab
「いこうや木屋平 project-守りたいもの-」



徳島科学技術高等学校
3年 堀口 里菜
「私の故郷“徳島”」



美馬商業高等学校
「みまから6次産業化
～美馬商生の挑戦～」

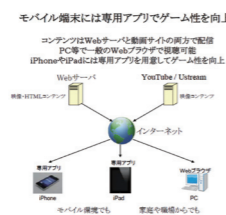


四国大学生生活科学部
生活科学科デザインコース
米田 沙里
「阿波リズム」

3. 高等教育機関等が行う調査・研究事業の助成 (H22年度～)

実践的な ICT 人材の育成を図るため、県内の高等教育機関等が行う地域の課題解決につながる ICT に係る調査・研究や地域活性化に貢献する ICT を利活用した地域での取組などの事業を助成しています。

また、毎年度末、助成対象事業の成果発表会を開催しています。



H25 四国大学
「徳島県の名産を紹介する海外向け iOS アプリの開発と参加型教育モデルの提案」



成果発表会

道 標 (みちしるべ)

財団設立10周年を契機とし、これまで築き上げてきた蓄積を基に、今後の財団の更なる飛躍を図るため、当財団の「羅針盤」といふべき「e-とくしま推進財団憲章」、基本理念や5年間の中期的な事業の方向性を示す「『e-とくしま推進財団』基本指針」を策定しています。

10th

公益財団法人 e-とくしま推進財団 設立10周年記念誌
ANNIVERSARY

e-とくしま推進財団憲章

急速な少子・高齢化、過疎化の進行など地域を取り巻く環境が厳しさを増す中、ICT（情報通信技術）は、わたしたちの暮らしの中に浸透し、なくてはならないものとなっています。

わたしたちの暮らしを、もっと豊かに、もっと便利に、そして生き活きと暮らせる社会を実現するためには、ICTを課題解決のツールとして、効果的・積極的に活用することが必要です。

地域とともに歩み続ける団体として、産・学・民・官と協働し、これまで築き上げてきた蓄積を基に、新たな価値の創造に向けた事業の継続と展開を図り、ひと・まち・しごとが活力あふれる地域を創造することを誓い、この憲章を制定します。

普及啓発

多種・多様な普及啓発を図り、ICTの利便性の理解を深め、ICTの利活用の促進に努めます。

- ・企業経営にICTをツールとして活用するセミナーなどを開催し、企業におけるICTの利活用の促進や企業・団体等の垣根を越えた交流機会の拡大に努めます。

地域貢献

ICTを暮らしにつなげ、県民の暮らしとICTが一体化する多様な活動により、地域の活性化を図ります。

- ・徳島の暮らしの窓口ともいえるべき「とくしまポータル」の運営拡大に努め、地域の情報交流の活性化を図ります。
- ・小・中学校等にホームページシステム等を提供・支援し、家庭・地域との連携強化を図ります。
- ・ICTを活用した電子行政サービスの提供を支援し、住民サービスの向上と行政の効率化を図ります。

人材育成

ICT利活用社会をけん引する人材やそれを支える人材の育成に努めます。

- ・ICTを活用した地域貢献の取組に対する表彰制度や調査・研究に対する助成制度により、未来を切り拓く実践的なICT人材の育成に努めます。

事業展開

ICTの進展や社会の変化に柔軟に対応し、新たな事業を創出するとともに、「選択と集中」により、事業の継続・展開を図ります。

運営基盤

賛助会員の方々との結びつきを大切に保つとともに、新たな会員の獲得に努め、賛助会員を維持・拡大し、運営基盤の確立を図ります。

1 推進期間

平成26年度から平成30年度までの5年間とします。

2 基本指針の位置づけ

この指針は、国のIT戦略「世界最先端IT国家創造宣言」に基づく徳島県の総合的なICT戦略である「ICTとくしま創造戦略」を受けた、「e-とくしま推進財団」の基本指針です。

「ICTとくしま創造戦略」の推進体制において、当財団は、県と連携し、ビジョンの達成に寄与するプロジェクトの推進と進捗管理の役割を担うとともに、今後、中期的に、地域に密着して、重点的に取り組むべき事業の方向性を示すものです。

3 基本理念

わたしたちの暮らしを、もっと豊かに、もっと便利にするため、ICTを課題解決ツールとして、効果的・積極的に活用し、ひと・まち・しごとが活力あふれる地域を創造する

4 目指すべき針路

基本理念を実現するため、次の3つの項目を柱として、利用者の視点に立った取組を積極的に推進します。

普及啓発

～ICTの利便性について、多種・多様な普及啓発を図り、利活用を促進する～

日常生活や地域社会において、ICTを活用することは、時間・場所の制約から解放された様々な活動が活発となり、地域の活性化につながります。

広く県民一般の方から、子どもやお年寄りまで、様々な年代や分野、地域の方に対して、セミナーや講座など多種・多様な普及啓発を行うことにより、ICTの利活用の促進を目指します。

地域貢献

～ICTを活用した地域の情報化を支援し、地域の活性化に貢献する～

ICTを活用した地域の情報化を支援することは、地域の活性化につながります。

地域の各種団体が、地域の課題解決に、ICTをツールとして活用する取組を支援し連携することにより、地域社会の健全な発展を目指します。

また、県内自治体が行うICTを活用した電子行政サービスの提供を支援し、住民サービスの向上と行政の効率化を目指します。

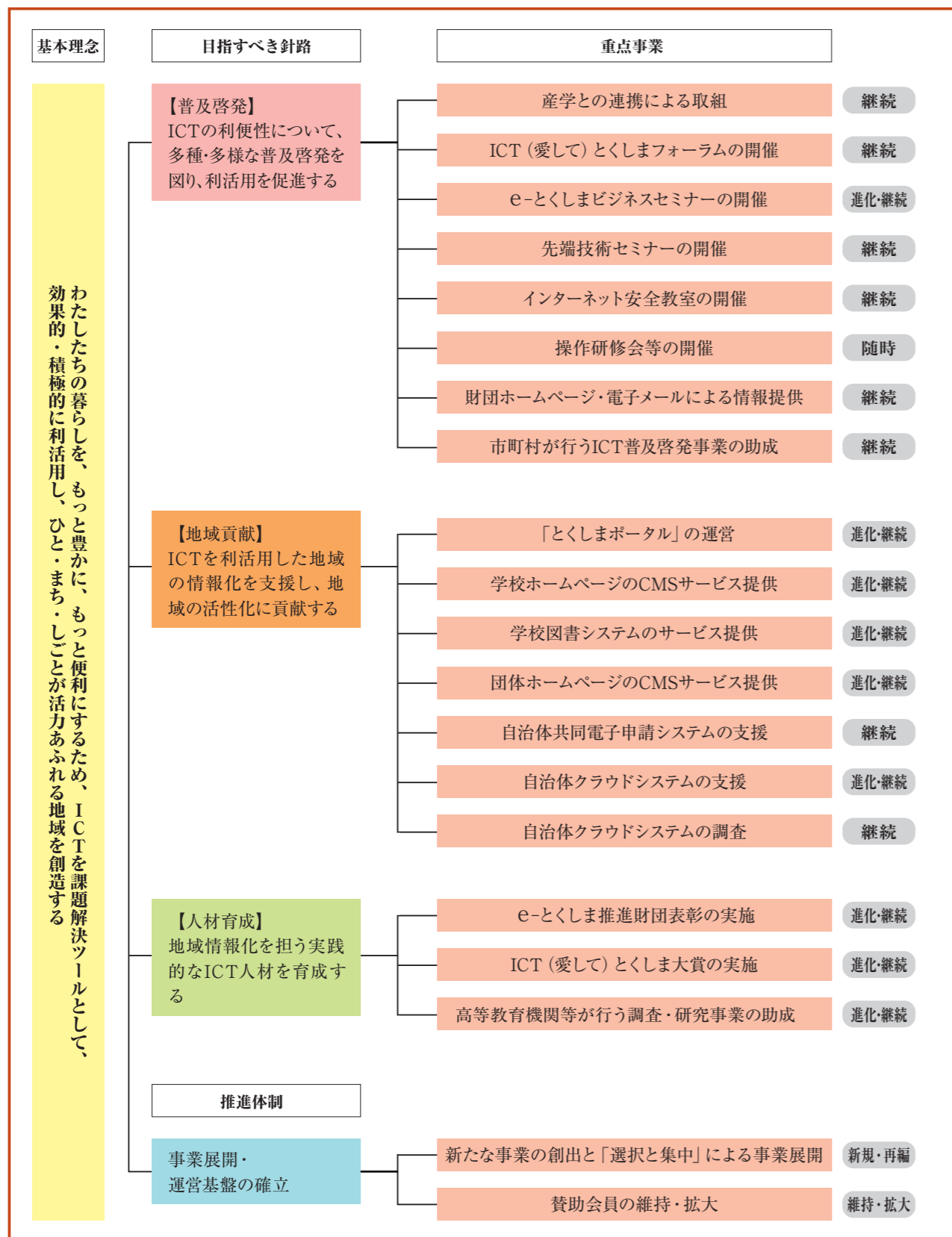
人材育成

～地域情報化を担う実践的なICT人材を育成する～

ICT利活用社会を実現し、利便性や効率性を発揮するためには、ICT利活用の裾野拡大が不可欠であり、そのためには、ICT利活用社会をけん引する人材やそれを支える人材が必要です。

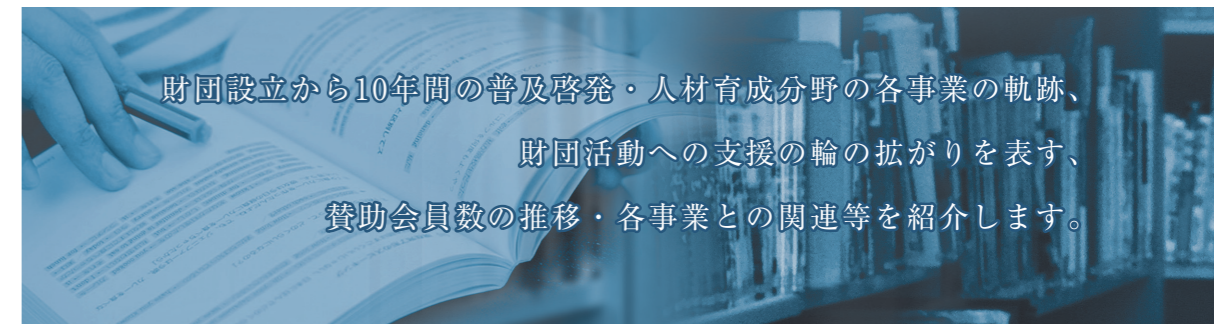
それぞれの世代や目的に応じて、ICT技術の進展に対応した取組を推進することにより、未来を切り拓く実践的なICT人材の育成を目指します。

5 基本指針の体系図



進化・継続 現在の事業規模を拡大し継続して実施 継続 現在の事業規模を維持し継続して実施 随時 補正予算等に応じて実施

軌 跡



財団設立から10年間の普及啓発・人材育成分野の各事業の軌跡、財団活動への支援の輪の広がりを表す、賛助会員数の推移・各事業との関連等を紹介します。

10th

公益財団法人 e-とくしま推進財団 設立10周年記念誌
ANNIVERSARY

1. 各事業の軌跡 (1)

事業名	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
産学との連携による取組	徳島大学との連携 「とくしまのe-コミュニティ構想(県民ポータル)について」	四国経済産業局との連携 「2坪ビジネス成功の秘訣」 コロちゃん(株) 代表取締役 小竹 守 「我が社のIT化戦略について」 (株)大一器械 常務取締役 来田 明雄 徳島大学地域ICT課題解決研究会との連携 「まちづくり・地域再生における市民力とICTの役割」 米国ポートランド州立大学 特命教授/博士 ステイブ・ジョンソン	四国総合通信局との連携 四国コンテンツ連携推進会議に参加 徳島県との連携 「地域ICT未来フェスタ2008inとくしま」 基本計画検討部会に参加	地域コンテンツ共用メディア実験協議会との連携 地域ワンセグ放送「あわせチャンネル」のスタジオ運営に参加 四国経済産業局との連携 「ニーズを聞くな、ウオツを探せ」 (株)クオカブランニング 斎藤 賢治 「百聞は一見にしかず、百見は一行にしかず」 (株)ヒラノファステック 平野 敬太郎 徳島県との連携 「地域ICT未来フェスタ2008inとくしま」に参加
ICT(愛して)とくしまフォーラムの開催 (H17~H22) e-とくしまセミナー(H23~) ICT(愛して)とくしまフォーラム	講演 「ICTは地域社会をどう変えるか」 国際大学GLOCOM副所長/教授 丸田 一 パネルディスカッション 「地域社会は行動する~ユビキタス・ネットワーク社会をめざして~」 パネリスト 徳島県知事 飯泉 嘉門 ピザンコム(株) 代表取締役社長 近藤 嘉之 国際大学GLOCOM副所長/教授 丸田 一 「ふるーぶ」編集部 藪田 ひとみ コーディネーター 徳島大学 教授 吉田 敦也	講演 「情報社会のあり方 ~竹中懇談会から見えてくること~」 東洋大学経済学部 教授 松原 聡 パネルディスカッション 「情報化とコミュニティ」 パネリスト 徳島県知事 飯泉 嘉門 (株)徳島経済同友会 代表幹事 近藤 紳一郎 (株)あわわ 代表取締役社長 坂田 千代子 東洋大学 教授 松原 聡 コーディネーター 徳島大学 教授 吉田 敦也	講演 「ICT活用による地域活性化に向けて」 (株)NTTデータ 取締役相談役 浜口 友一 総務省 総務審議官 鈴木 康雄	講演 「ICTと地域経済の活性化~地方の元気が日本の力~」 総務省 総務審議官 鈴木 康雄
e-とくしまビジネスセミナーの開催			講演 「ICTを活用した地域振興 ~上勝町とマイクロソフトの取り組みおよび全国の事例~」 マイクロソフト(株) Plan-J推進本部 市場開発部長 森本 登志男	特別講演 「フラット化する世界とサービスイノベーション」 東京大学大学院特任教授/徳島県最高情報統括監 丸山 力

H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
貞光工業高等学校における開校記念講演 「コンテンツ工学入門~おもしろさの作り方~」 徳島文理大学人間生活学部メディアデザイン学科 助教 長濱 太造 徳島県高等学校教育研究会工業学会における特別講演 「フラット化する世界とコンピテンシー」 東京大学大学院 特任教授/助e-とくしま推進財団理事 丸山 力 徳島文理大学人間生活学部における講義 「クラウド・コンピューティングと次世代ネットワーク(NGN)」 西日本電信電話(株) 徳島支店 副支店長 磯崎 善博 「ケータイ電話を利用したビジネスについて」 (株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ四国支社 徳島支店 法人営業部長 田中 啓二 徳島工業短期大学との連携 「ケータイ安全教室」 (株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ あんしんインストラクター 山下 朋子	貞光工業高等学校における開校記念講演 「映像制作と情報の配信方法・効果を探る」 四国大学経営情報学部メディア情報学科 助教 近藤 明子 徳島県高等学校教育研究会(工業部会)全体会講演 「地域の活性化と人材の育成」 助とくしま産業振興機構知的クラスター本部 事業総括 濱尾 重忠 徳島文理大学 特別講演 「働くとは」 (株)STNet 常務取締役 志賀松 邦敏 四国大学看護学研究所・附属経営情報研究所 学術講演会 「産学官連携による糖尿病研究活動を通して地域振興の新たな展開を目指す」 助とくしま産業振興機構知的クラスター本部 事業総括 濱尾 重忠 徳島工業短期大学との連携 「ケータイ安全教室」 (株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ あんしんインストラクター 山下 朋子	四国工業教育研究協議大会 「日本経済の将来と雇用情勢」 (株)富士通総研研究所 エグゼクティブフェロー 根津 利三郎 四国大学 特別講義 「元気の出るコミュニケーション」 (株)STNet 常務取締役 志賀松 邦敏 徳島文理大学 特別講演 「5年後、あなたの仕事・生活はこう変わる」 NECプラットフォームマーケティング戦略本部 ニューITエバンジェリスト 林 雄代 徳島工業短期大学との連携 「ケータイ安全教室」 (株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ あんしんインストラクター 山下 朋子	貞光工業高等学校における開校記念講演 「人生は大きな視点で~今を大切に今を生き切りよう~」 (公財)とくしま産業振興機構知的クラスター本部 事業総括 濱尾 重忠 徳島工業短期大学との連携 「ケータイ安全教室」 (株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ あんしんインストラクター 小西 敏子	徳島工業短期大学との連携 「ケータイ安全教室」 (株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ あんしんインストラクター 小西 敏子
講演 「ICT技術の新たな動向について -クラウド・コンピューティングへの期待-」 慶應義塾大学 総合政策学部 学部長 國領 二郎	講演 「私の思う徳島のICT」 (株)メディアドゥ 代表取締役 藤田 恭嗣	パネルディスカッション 「魅せます 徳島 e-トコロ」 パネリスト 大阪国際大学 情報デザイン学科 教授 稲泉 綾二 (株)アインザ 代表取締役 今井 勉 (株)TMインタラクティブ 代表取締役 高橋 睦子 北海道大学 観光学高等研究センター 准教授 山村 高淑 コーディネーター 徳島県知事 飯泉 嘉門	トークセッション 「サテライトオフィスの未来を語る」 パネリスト NPO法人 グリーンパレー 理事長 大南 信也 (株)ダンクソフト 代表取締役 星野 晃一郎 サイファー・テック(株) 代表取締役 吉田 基晴	講演 「つながるチカラ ~ソーシャルメディアは『動員の革命』だ!~」 ジャーナリスト/メディア・アクトビスト 津田 大介
講演 「本県の経済成長戦略とICT活用促進」 徳島県商工労働部 部長 内野 洋次郎 特別講演 「地域振興の鍵 産学官連携のあるべき姿」 助とくしま産業振興機構知的クラスター本部 事業総括 濱尾 重忠	講演 「宝の島・徳島」の「新成長戦略」の推進 徳島県商工労働部 部長 福田 哲也 特別講演 「クラウド時代 人と組織が変わるために」 (株)富士通総研代表取締役会長/富士通(株)特命顧問 伊東 千秋	講演 「宝の島・徳島」~新たな挑戦~ 徳島県商工労働部 部長 八幡 道典 特別講演 「東日本震災からの復興とICTの動向」 西日本電信電話(株) 相談役 森下 俊三	講演 「宝の島・徳島」経済成長戦略 徳島県商工労働部 部長 酒池 由幸 特別講演 「人と地球に優しい情報社会を目指して」 日本電気(株) 特別顧問 岩波 利光	講演 「TPP等グローバル化に対応した徳島の農林水産業施策について」 徳島県政策監補 塩屋 俊一 特別講演 「モバイルICTの“昨日・今日・明日”」 (株)NTTドコモ 常務執行役員/スマートライフビジネス本部 本部長 阿佐美 弘恭

1. 各事業の軌跡 (2)

事業名	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
先端技術セミナーの開催				
インターネット安全教室の開催				
操作研修会等の開催				
市町村が行うICT普及啓発事業の助成		<p>上勝町 講習会 「インターネットでできること」 (有)アットワークス 田中 純子</p> <p>美波町 講演 「地上テレビ放送のデジタル化とブロードバンドの推進について」 四国総合通信局 情報通信部放送課 課長 三木 啓嗣</p> <p>海陽町 講演 「地上テレビ放送のデジタル化とブロードバンドの推進について」 四国総合通信局 情報通信部放送課 課長 三木 啓嗣</p>	<p>那賀町 講演 「インターネットを取り入れた生活をしてみませんか?」 テック情報(株)営業本部 営業部 松原 耕三 「本当は怖い!? ネット社会～インターネットの落とし穴～」 テック情報(株)管理本部 技術管理部 庄野 和彦</p> <p>三好市 講演 「過去の防災話から学ぶ被害を減らすための智慧～災害最前線四国の防災術～」 四国地方整備局 危機管理連絡室 室長 松尾 裕治</p>	<p>三好市 地域ICT未来フェスタ 2008inみよし</p> <p>上勝町 地域ICT未来フェスタ かみかつ</p> <p>那賀町 地域ICT未来フェスタ 2008inとしまなか</p>

県内の市町村が実施主体となるICTの利活用に関するセミナー、講習会等の普及啓発事業を助成しています。

H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
<p>講演 「『徳島』は誰のもの?」 (財)ハイパーネットワーク社会研究所 副所長/多摩大学情報社会学研究所 主任研究員・教授 会津 泉</p>	<p>講演 「なぜ?Androidが目ざれているのか?」 (株)ネイルコム所属/日本Androidの会四国支部 支部長 兼久 信次郎</p> <p>講演 「ドコモのスマートフォン戦略」 (株)エヌ・ティ・ティ・ドコモスマートフォン事業推進室 技術推進担当部長 武田 出</p> <p>講演 「Androidの現在とメディアの未来」 早稲田大学大学院情報生産システム研究科 客員教授/日本Androidの会 会長 丸山 不二夫</p>	<p>講演 「音声認識技術の現状と展望」 (株)アドバンス・メディア 取締役技術部長/工学博士 藤田 泰彦</p> <p>パネルディスカッション 「音声認識技術と自然言語処理技術が実現する未来」 パネリスト (株)アドバンス・メディア 藤田 泰彦 (株)ジャストシステム 共通技術開発部 部長 喜多 英司 コーディネーター 徳島大学大学院 教授 青江 順一</p>		<p>講演 「スーパーコンピューターが拓く未来と「京」誕生までの軌跡 ～世界一への挑戦とそれを支えた技術、人材～」 富士通(株)次世代テクニカルコンピューティング開発本部 本部長代理 伊東 広樹</p>
<p>国府小学校(徳島市) 城西中学校(徳島市) 一般の方を対象(板野町) 板野東小学校(板野町) 内町小学校(徳島市)</p>	<p>那賀川中学校(阿南市) 北島南小学校(北島町) 浦庄小学校(石井町)</p>	<p>江原中学校(美馬市)</p>		<p>久勝小学校(阿波市)</p>
	<p>中高年者向けインターネット体験会 (6回開催) 教職員向けICT講習 (11回開催)</p>	<p>中高年者向けインターネット体験会等 (5回開催)</p>		<p>SNS利活用講座 (6回開催)</p>
<p>上勝町 講習会(パソコン講習) (株)かみかついっきゅう 内浦 有美</p>	<p>阿波市 講習会(ツイッター講座) 松野 達也</p> <p>上勝町 セミナー 「上勝TV」報告会、Ustream 説明会 (株)TMインタラクティブ 稲垣 隆、高橋 睦子</p>	<p>那賀町 講習会(iPad講座) 玄番 隆行</p>		<p>阿波市 講演 「徳島と世界をつなぐソーシャルメディア都市宣言in阿波市 ～地域情報発信の可能性・未来を探る～」 Ustream Asia(株) 代表取締役社長 中川 具隆</p>

1. 各事業の軌跡 (3)

事業名	H21年度	H22年度
e-とくしま推進財団表彰の実施	<p>①団体表彰で6団体を表彰 貞光工業高等学校土木科 つるぎ町巨樹分布調査研究班 徳島県高等学校教育研究会 家庭学会教科研究委員会 阿南工業高等専門学校ボランティア部 徳島大学地域創生センター 徳島文理大学人間生活学部 メディアデザイン学科篠原ゼミ 四国大学経営情報学部情報ビジネス学科</p> <p>②個人表彰で18名を表彰 後藤田 中、鍋島 豊晶、那 振雷、 猪子 絵梨奈、藤尾 望、紅露 泰智、 近藤 直輝、中野 翔太、近藤 杏奈、 高島 亜紀、長岑 文香、大島 昇子、 岩崎 美佳、菱崎 潤哉、久保 穰、 竹内 昌平、中川 咲紀、徳弘 祐紀</p>	<p>①団体表彰で6団体を表彰 貞光工業高等学校電気工作部 「街あかり推進チーム」 徳島県高等学校教育研究会商業学会 情報処理委員会 阿南工業高等専門学校Lego(レゴ)同好会 徳島大学U-ラーニングセンター 徳島文理大学理工学部 徳文☆Dreams(ドリームス) 四国大学経営情報学部メディア情報学科 映像メディアコース</p> <p>②個人表彰で18名を表彰 前田 なつみ、郡 文哉、米田 啓人、 水島 聡哉、北本 裕樹、柴野 由加吏、 塚井 郁弥、見島 志寿香、中村 真弓、 藤成 悠哉、松久 陽奈、山本 志織、 景山 翔平、笹本 翔太、新田 早織、 吉川 真由美、平井 沙織、山田 佳幹</p>

高等教育機関の部として
県内の高等教育機関(高等学校を含む)の生徒・学生又は団体を対象に、
①ICTを活用し、県民の利便性の向上や地域活性化など、実効性の高い成果が期待される業績を残したもの
②ICT関連の発明・改良・新案に関して、顕著な業績のあったもの
③学校内や地域社会に対して、ICTの普及啓発や利活用に向けたもの
公立小中学校の部として、
県内の公立小中学校のうち、ホームページの運営が特に優れており、他校の模範となるもの
の2部門で表彰を実施しています。

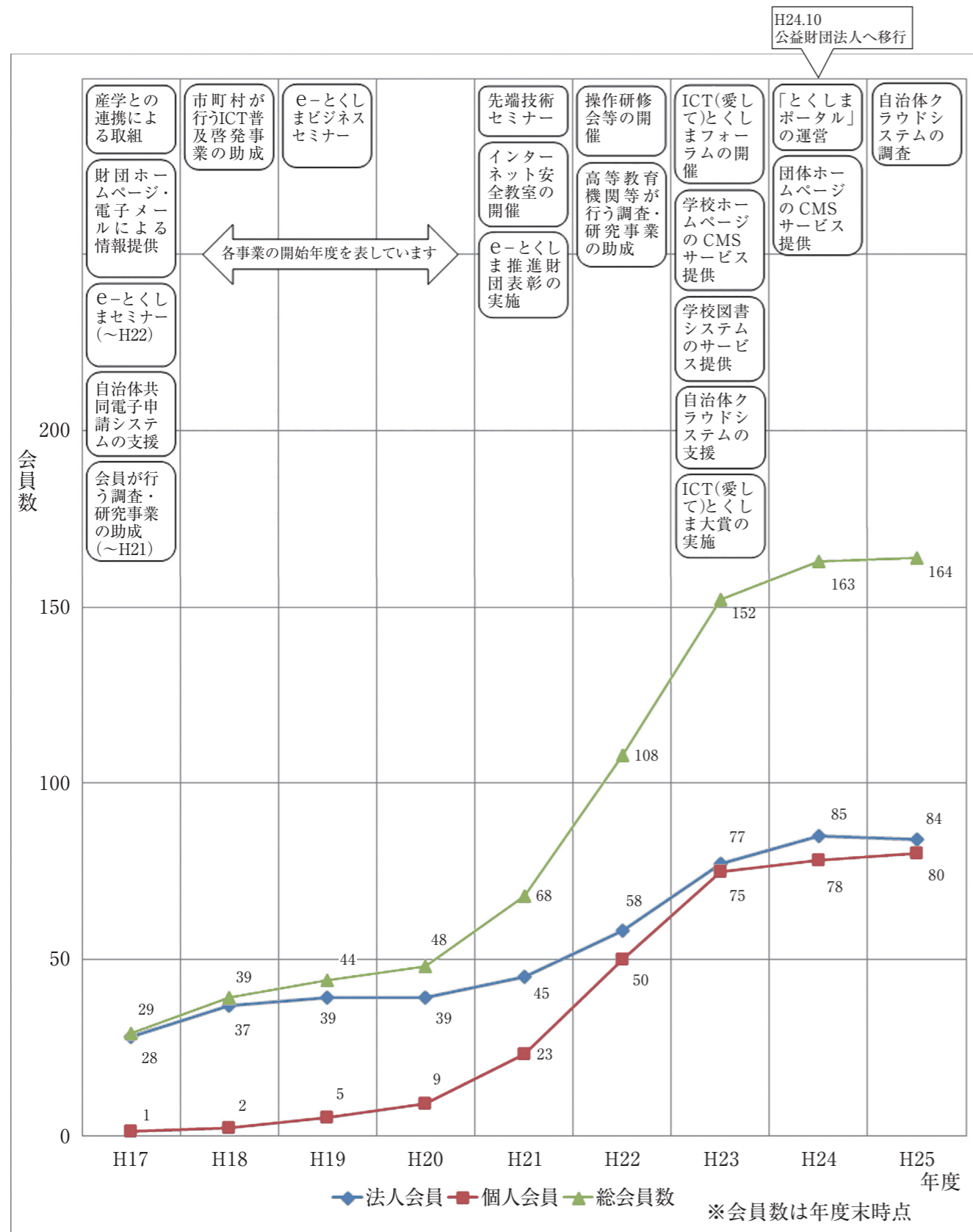
ICT(愛して)とくしま大賞の実施	<p>県内在住者や県にゆかりのある方を対象に、「自然・食・文化」など「宝の島・徳島」の魅力県内外を問わず世界に向けて大いに発信するとともに、県内のコンテンツ産業の振興に繋がる優秀な人材を発掘し、更に「徳島ファン」を増やしていくことを目的として、「徳島」を素材に制作したアニメーション、実写映像、コンピューターグラフィック、ゲーム、Webサイトなどデジタルコンテンツの創造力ある優れた作品の表彰を実施しています。</p>			
-------------------	---	--	--	--

事業名	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
高等教育機関等が行う調査・研究事業の助成 (H17~H21) 会員対象 (H22~) 高等教育機関等対象	<p>(有)イーフロント 「シニア向けふるさと移住・体験交流支援に関するWEBサイト開設」 (株)栄写真社 「映像専門サイト“とくしまe-TV”開設」</p>	<p>(株)アインス 「健康状態チェックゾーン“e-バランス”」 (株)日立製作所四国支社 「『入札参加資格手続の効率化』実現に向けた調査・研究」</p>	<p>西日本電信電話株徳島支店 「住民ポータルサービスの実現性に関する調査・研究(電子図書館機能の提供に関する調査)」 富士通株徳島支店 「FPcodeを活用した地域活性化」</p>	<p>三好教育ネットワークセンター 「CMSを利用した学校WEBサイトの構築による情報公開の試み」 徳島大学地域創生センター 「地域創生プラットフォーム機能を備えたとくしまポータルの開発研究」 徳島文理大学人間生活学部 「ICカードを用いた医療サポートシステムの構築」</p>
<p>県内の高等教育機関、高等学校等を対象に、ICTとくしま創造戦略の重点戦略である、①映像産業分野の新事業創出、②オープンデータ・ビッグデータの利活用の推進、③ICTを活用した農林水産業の振興、④雇用形態の多様化とワークライフバランスの実現、⑤アクティブ・シニアが活躍する地域社会の実現、⑥ICTを活用したユニバーサル社会の実現、⑦効果的・効率的な医療・生活支援サービスの展開、⑧防災・減災体制の整備、⑨安全で経済的な社会インフラの実現、⑩高水準なICTインフラ環境の確保、⑪効果的・安定的なエネルギー管理の実現、⑫安全な道路交通社会の実現、⑬犯罪に巻き込まれない地域の実現、⑭情報セキュリティレベルの向上、⑮利便性の高い行政サービスの提供、⑯行政の効率化、⑰教育環境のICT化、⑱県民のICTリテラシーの向上支援、⑲実践的なICT人材の育成、の調査・研究事業を助成しています。</p>				

H23年度	H24年度	H25年度
<p>①団体表彰で6団体を表彰 徳島科学技術高等学校電気技術類 情報通信コース3年課題研究出前授業班 鴨島商業高等学校商業科プロジェクトチーム 阿南工業高等専門学校阿南高専エコーは 徳島大学病院超音波センター 徳島文理大学理工学部臨床工学科 四国大学経営情報学部メディア情報学科 情報システムコース</p> <p>②個人表彰で15名を表彰 戎田 直人、矢野 里奈、斉田 亜矢子、 藤園 翔太、大久保 真、栗本 明典、 松本 彩果、上地 芹香、小原 浩平、 宮川 征也、橋本 恭介、山本 智恵美、 竹口 幸志、田辺 亮輔、伊藤 大輔</p>	<p>①団体表彰で5団体を表彰 徳島科学技術高等学校課題研究班 徳島商業高等学校校内模擬会社ComCom 徳島大学工学部電気電子工学科安野研究室 徳島大学病院病院情報センター 徳島文理大学理工学部</p> <p>②個人表彰で11名を表彰 池光 好稀、高井 滉介、久次米 翔太、 福岡 昌寛、吉岡 拓馬、中西 麻結、 小山 桃子、林 勝利、酒谷 雅美、 佐藤 和史、秋月 香織</p> <p>③学校ホームページ表彰で6校を表彰 【最優秀校】 南小松島小学校(小松島市)、 阿南第一中学校(阿南市) 【優秀校】 川島小学校(吉野川市)、 木屋平中学校(美馬市)、 上勝小学校(上勝町)、 神山東中学校(神山町)</p>	<p>①団体表彰で9団体を表彰 徳島科学技術高等学校電気技術類 情報通信コース3年課題研究出前授業班 貞光工業高等学校機械工作部 貞光工業高等学校建設科土木コース「つるぎ町」 避難所マップ調査研究班 徳島大学広報戦略室 徳島大学附属図書館蔵本分館 徳島大学歯学部 徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター 徳島大学病院脳卒中センター及び 地域脳神経外科診療部 徳島文理大学理工学部電子情報工学科</p> <p>②個人表彰で3名を表彰 藤山 美咲、須原 沙紀、濱田 龍</p> <p>③学校ホームページ表彰で27校を表彰 【最優秀校】 川島小学校(吉野川市) 【優秀校】 上浦小学校(吉野川市)、伊沢小学校(阿波市)、 神領小学校(神山町)、北島北小学校(北島町)、 三庄小学校(東みよし町) 【優良校】 北井上中学校(徳島市)、板東小学校(鳴門市)、 鳴門中学校(鳴門市)、伊島中学校(阿南市)、 知恵島小学校(吉野川市)、 川田小学校(吉野川市)、 一条小学校(阿波市)、御所小学校(阿波市)、 江原南小学校(美馬市)、岩倉小学校(美馬市)、 喜求小学校(美馬市)、芝生小学校(三好市)、 三野中学校(三好市)、西祖谷中学校(三好市)、 上勝小学校(上勝町)、高川原小学校(石井町)、 高浦中学校(石井町)、日和佐中学校(美波町)、 神宅小学校(上板町)、 古見幼稚園・小学校(つるぎ町)、 昼間小学校(東みよし町)</p>
<p>デジタンク 「遊山箱号がやってきた!」</p>	<p>Team美波3.0 「美波百景」 美馬商業高等学校 「うだつ〜美馬に咲く〜」 徳島科学技術高等学校 伊藤 愛美 「徳島物語 -すばらしき徳島をめぐる-」</p>	<p>徳島文理大学NPO法人AwatterLab 「いこうや木屋平project -守りたいもの-」 徳島科学技術高等学校 3年 堀口 里菜 「私の故郷“徳島”」 美馬商業高等学校 「みまから6次産業化 ~美馬商生の挑戦~」 四国大学生活科学部生活科学科デザイン コース 米田 沙里 「阿波リズム」</p>
e-とくしま推進財団賞のみ記載		

H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
<p>徳島県高等学校教育研究会 家庭学会 「ICTの有効活用のための家庭科デジタルコンテンツの作成と普及活動」 四国大学 「学生と経営者がひとつになって盛り上げる徳島の魅力創出」 徳島工業短期大学 「ユビキタスネットワーク社会の構築とデジタルデバイス対策の方法について」</p>	<p>城西高等学校 「特色ある地域教材のデジタル化と情報発信に関する調査研究」 徳島科学技術高等学校 「オープンソースソフトウェアとタブレット端末の利用による教育現場での校務処理効率化について」 阿南工業高等専門学校 「徳島県南部の小学校パソコンクラブ活動への技術的支援の取り組み」 鳴門教育大学 「ソーシャルメディアの活用による学びの場の構築」</p>	<p>徳島科学技術高等学校 「ICTを活用した水産科教材のデジタル化及び実習船管理業務の効率化に関する調査研究」 鴨島商業高等学校 「ICTを活用した地域連携のあり方についての研究」 徳島文理大学 「インターネットを活用した妊婦の健康作りと、助産師による妊娠から子育てまでのよろず相談」 「貴重絵画デジタルアーカイブ構想」</p>	<p>徳島科学技術高等学校 「オープンソースソフトウェアによる教育現場での進路支援システムの構築について」 国府支援学校 「ICTを活用した自閉症児への効果的な授業や支援の研究」 鳴門教育大学 「小・中学校における事務情報の共有および研究部会情報の共有へのCMSの活用」 四国大学 「映像を用いたデジタルパンフレットの作成と観光案内への応用」</p>	<p>板野支援学校 「特別支援学校における効果的な就労移行支援につながる作業学習の取り組み-IT作業班と事業所の連携を通して-」 徳島県立農林水産総合技術支援センター農業大学校 「ICTを活用した農業分野における情報発信及び農産物販売支援システムの研究」 四国大学 「生き生きとした子どもたちの今を伝える~ICTによる特別支援学校の活動紹介~」 「徳島県の名産を紹介する海外向けiOSアプリの開発と参加型教育モデルの提案」</p>

2. 会員数の推移



当財団の活動は、賛助会員の皆様のご支援・ご協力によって支えられています。

当財団では、広く賛助会員を募集しています。

入会のお問い合わせは、財団事務局までご連絡ください。

公益財団法人 e-とくしま推進財団 設立10周年記念誌

編集・発行者

公益財団法人 e-とくしま推進財団

〒770-0847 徳島市幸町3丁目55番地 自治会館4階

tel.088-621-3415

fax.088-652-0072

E-mail information@e-tokushima.or.jp

ホームページ <http://www.e-tokushima.or.jp>

発行日

平成27年2月2日